

東小学校の教職員は、“学び続ける教職員”および“適正な勤務時間”を心がけるとともに児童にとって“より質の高い教育活動”が推進できるよう、次のことに取り組みます

甲府市立東小学校
2022年6月15日

学校においては、教員が様々な業務に追われる中、長時間勤務の実態が看過できない状況になっています。教員が授業や授業準備等に集中し、健康でいきいきとやりがいをもって勤務できなければ教育の質を高められることはできません。長時間勤務等を教員個人の問題にとどめるのではなく、学校全体ひいては社会全体の問題として「学校における働き方改革」を進めていく必要があると考えています。現状では根本的な解決策はありませんが、今できることとして次のことに取り組んでいきます。

①会議時間を削減します

高学年児童が下校するのは午後4時頃です。勤務時間はその後1時間程度しかありません。プリントのまるつけなどをしていけばあっという間に終わってしまいます。職員会議や校内での研究会などをしていけばその時間さえもなくなります。

そこで、放課後の会議に費やす時間を極力減らしていきます。ネットワーク上の掲示板などを使って情報を共有して実際に集まって会議をする時間を減らします。会議を行う場合は事前に資料に目を通しておいて提案時間を省くようにして時間短縮を行います。

②学校行事を見直します

学校行事は前年度まで行っていたことを踏襲することが多く、取組を終えた後に行う反省も次の年も行うことを前提として進められています。前年度のをさらによいものにしてしようとして内容もふくらみ、準備等にさらに時間がかかるようになっていきます。

そこで、取組終了後に行事を振り返り、目的に照らし合わせて省力化していける部分がないか、そもそも行う必要性はあるのかなどの見直しをしていきます。

③業務の効率化を進めます

県内の小中学校に共通の校務支援システムが導入され、山梨県教育委員会や山梨県内の他市町村の学校とネットワーク（イントラネット）が結ばれました。それにより、これまで紙ベースで行っていた調査報告業務や出張・休暇申請などが電算処理できるようになったり、校内だけでなく他校とも電子掲示板等を使った連絡が可能になったりしました。

そこで、校務支援システムでできることを整理し、校内での研修も取り入れながら積極的に活用して、業務の効率化を図っていきます。

④一人一人が勤務時間を意識して働きます

行事などがある時には仕事量が増え、退勤時間が遅くなります。一つのことが終わってもまた次のことが始まるので、なかなか早く帰ることができず、遅くまで勤務していることが当たり前になってしまうという悪循環に陥ります。

そこで、上記①会議時間削減を行い授業準備等の時間を少しでも確保する ②学校行事の見直しによってそれにかかる時間を減らしていくなどの対策を取るわけですが、それと併せて、校務支援システムによる出退勤時間管理を進め、勤務時間が長くなっている場合には管理職面談を行い、業務改善を行います。毎日、子どもたちと元気に向き合えるように、健康的に仕事ができるように配慮していきたいと思えます。

令和4年度 多忙化改善計画